

高島第一中学校だより 5月号



“高島第一中学校学びのエリア”

(新河岸幼稚園・新河岸小学校・高島第一小学校・高島第一中学校)

令和2年5月18日(月)

校長 柳澤 忠男

臨時休業が延長となりました

連休明けまでの予定だった政府の緊急事態宣言が延長となり、学校の再開も5月いっぱい延期となりました。先週の家庭学習プログラムによる学習は予定通りにできたでしょうか。本校では、学校が再開して午前中だけの授業が始まった時にも、同じペース学習できるように9教科を正式時間割とほぼ同じ割合で配置した時間割としました。また、各教科の先生方が、学校での授業と同じように学習できるように考えて1時間のプログラムを組んでいます。板橋区や各方面の団体が無料で提供している動画や学習資料も有益なものを選んでプログラムの中に採用しています。さらに、今日から3日間、本校では教材配布を行うことにいたしました。今までの教科書だけの学習から、問題演習等もたくさん行えるようになると思います。学校で授業を受けているのと同じような気持ちでしっかりと取り組んでください。



臨時休業延長のお知らせと同時に区から連絡があったように、今年度の学校行事が大幅に削られることになりました。修学旅行、移動教室、校外学習、運動会、学習発表会など、長距離の移動を伴うものや多くの人たちが集まって活動したり、観覧したりするものは、どうしてもこの状況では感染拡大のリスクが高く、中止せざるを得なくなりました。来年度から完全実施となる新学習指導要領では、「主体的、対話的で深い学び」に代表されるように、人とのかかわりや実際の体験を行う中で意見を述べ合い、考えを深めて学ぶことが目指されており、まさに、学校行事はそれらを実践する大切な場です。しかし、この状況では普通の授業でグループでの話し合いを行うことさえも制限せざるを得ません。私たち教員もこの中でどのように生徒たちにこれからの社会で必要となるこれらの力をつけさせていくのか、もう一度考え直さなければならなくなりました。

今回の感染症拡大の状況で、みなさんが学んだことは、「いつどんなことが起こるか分からない」ということです。今まで当たり前に行っていた毎日学校に通うことや人と交流をもつことができなくなるなどとは、夢にも思わなかったと思います。そのような想定外の状況の変化にも適応できる能力を我々は身に付けていかなければならないことに気付かされました。今、一日一日が正解のない間に向き合っている状態です。世の中には多くの情報があふれています。提供されている学習コンテンツもよいものから、首をかしげたくなるものまでたくさんあります。若い生徒の皆さんにはこの後の人生の中でもどんなことが起こるか分かりません。それらの状況に対応し、よりよい選択ができるようにするために自分で学習できる能力を高め、自分で自分の生活を計画できる能力を高めてほしいと思います。そんな訓練の期間だと思ってこの臨時休業期間を過ごしてください。

学校再開時は分散登校から始める予定です

非常事態宣言が予定通り5月31日まで継続されると、学校再開は6月1日(月)からとなります。その場合、板橋区の中学校では最初の2週間は1クラスを2グループに分けて1日おきに午前中のみ登校させる分散登校を計画しています。本校ではそうなった時にはAグループを出席番号が奇数の生徒とし、月、水、金、火、木と登校してもらい、Bグループを出席番号が偶数の生徒として、火、木、月、水、金と登校してもらう予定です。登校しない間の日については、授業でその日の復習課題や次の予習課題を与えて、家庭学習してもらおうと考えています。給食は学校再開後3日目から、配膳や席配置で感染予防に配慮して行います。また、授業では席の配置で間隔を十分にとり、休み時間を長めにとって十分換気をします。しばらくの間は、なるべく教室の自分の席に座って受けられるような内容の授業を行っていく予定です。生徒は登校する時には検温を必ず行い、マスクの着用をお願いします。感染症拡大防止に配慮した学校再開となることをご理解ください。

令和2年度 板橋区立高島第一中学校 学校経営方針

1 「高島第一中学校学びのエリア」のめざす子ども像 あきらめない子ども

2 学校の教育目標 「自立」

わが国の伝統的な文化を大切にするとともに、新しい時代の文化を創造する心豊かで知性ある人間、また21世紀の国際社会の中でたくましく生きる社会人を育成するために、学校教育目標「自立」を設定する。

3 本校のめざす生徒像

「自ら律する」：規範意識を身に付け、感情等をコントロールし、自ら考え、判断し、行動できる生徒

「共に生きる」：人とのかかわりの中で、自他を思いやる心をもって、協働で物事に取り組み、果敢に挑戦できる生徒

「視野を広める」：他者の多様な意見を取り入れ、広く社会に目を向け、自ら高める姿勢をもつことのできる生徒

4 めざす学校像

- (1) 学ぶ意欲を高め、力をつける学校
- (2) よりよい社会の担い手を育てる学校
- (3) みんなで育てる学校
- (4) 保護者・地域から信頼される学校



中止となる主な学校行事及び連合行事

今年度中止となる主な学校行事と中学校に関係する連合行事は以下の通りです。学校独自に行う行事については、感染症拡大の改善状況によっては、形式を変えた代替行事を行うことを検討していきます。

<宿泊行事>

- 修学旅行（9年生）
- 富士見高原移動教室（7年生）
- スキー教室（8年生）
- 特別支援学級連合移動教室（5組）

<学校行事>

- 入学式
- 離任式
- 運動会
- 学習発表会（舞台）
- 校外学習（各学年）

<連合行事>

- オーケストラ鑑賞教室（8年生、5組）
- 特別支援学級連合学芸展覧会（5組）
- 中学生海外派遣
- 英語のつどい
- 生徒会交流会
- 中学校連合学芸会
- 中学校総合体育大会
- 中学校連合陸上大会



コミュニティ・スクール委員会

板橋区では、今年度より区内全小中学校が、コミュニティ・スクールとなりました。昨年度の準備委員会である「コミュニティ・スクール推進委員会」が正式に「コミュニティ・スクール委員会」となりました。臨時休業が続いているため、委員会を今年度は開けていませんが、コミュニティ・スクールの具体的な活動や推進方法について、年5回の会議を行ってまいります。改めて今年度の委員の皆様をご紹介します。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 委員 高麗 正夫さん（高島平八丁目町会長） | 委員 石掛 知宏さん（本校前PTA会長） |
| 委員 大野 藤夫さん（新河岸八号館自治会長） | 委員 渡辺 雄三さん（本校現PTA会長） |
| 委員 平野 美鶴さん（本校元PTA副会長） | 委員 吉田 寿さん（青少年健全育成委員） |
| 委員 本間 広美さん（本校元PTA会長） | 委員 池上 薫さん（新河岸児童館館長） |
| 委員 星野 真一さん（青少年健全育成委員） | 委員 柳澤 忠男（本校校長） |
| 委員 菊池 恭一さん（青少年委員会副委員長） | 委員 田邊 勉（本校副校長） |

※今年度は地域委員の皆様の中から、委員長を選出いたします。

令和2年度教職員紹介（追加）

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| 育成支援アドバイザー | 加藤 芳和（本校に所属し、教員の育成支援にあたります。） |
| 図書館司書 | 佐藤 美希（週1回程度、図書室の整備、読書指導の支援にあたります。） |
| ALT | ジョーダン・クロック（英語の授業を年間何時間か教員とともに担当します。） |
| 巡回心理士 | 栗田 明子（特別支援教育のアドバイザーとして年間数回勤務します。） |
| ICT支援員 | 渡部 香（ICT機器を使った授業の支援に月2回ほどあたります。） |
| 日本語適応指導員 | 王城 玉栄（日本語指導の必要な生徒の個別指導に月2回ほどあたります。） |
| 教諭（社会） | 椎名 美咲（1年間、産休・育休でお休みします。） |